

# 第1章 | 計画策定にあたって

## 第1節 計画策定の趣旨

神戸町（以下、「本町」という。）では、昭和49年度に「神戸町総合計画」を策定して以降、4期にわたり時代の潮流を踏まえた「総合計画」を策定し、計画的なまちづくりの指針としてきました。

「神戸町第四次総合計画」に基づき町政を進めてきた平成19年度から平成28年度は、「みんなで創る 元気・快適・いきいきタウン」を将来像として、住民と行政の協働をテーマにまちづくりを進めてきました。この間、本町では人口が減少傾向に転じるとともに、本格的な少子高齢社会の到来を迎えるなど、本町を取り巻く環境は大きく変化しています。

さらに今日では、さらなる人口減少と少子高齢化の進行を背景に「消滅可能性都市\*」が議論されており、地方自治体にはこれまで以上に自主的・自立的なまちづくり活動を促す「地方創生\*」に向けた取組が求められています。

こうした潮流を踏まえつつ、多様化する住民ニーズに的確に応え、生活環境の向上とまちの持続的な発展を図るため、「神戸町第5次総合計画」を策定します。

「\*」のついた用語は、「資料編」に解説を掲載しています

### 神戸町総合計画（昭和50年度～昭和59年度）

将来像 **健康で豊かな文化的田園都市**

### 第二次総合計画（昭和60年度～平成6年度）

将来像 **やすらぎと文化を創造するまち**

### 第三次総合計画（平成7年度～平成18年度）

将来像 **心の豊かさゆとりを実感できるまち “ごうど”**

### 第四次総合計画（平成19年度～平成28年度）

将来像 **みんなで創る 元気・快適・いきいきタウン**

## 第5次総合計画

（平成29年度～平成36年度）

## 第2節 計画の性格と役割

神戸町第5次総合計画は、より良いまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための基本方針としての性格をもち、本町のまちづくりの「最上位計画」としての役割があります。

また、神戸町第5次総合計画は、基本方針とその実現のための施策を明らかにすることで、町政に対する住民の皆さんの理解・協力と積極的な参画を促し、住民と行政が協働してまちづくりを推進するための「共通の尺度」となる計画です。

## 第3節 計画の構成と期間

神戸町第5次総合計画は、「基本構想」及び「基本計画」で構成するとともに、「実施計画」を別に策定します。

